

城北公園再整備に向けた懇談会の提言書

作成日：2025 年 7 月〇日

提出先：静岡市長 難波喬司

作成者：城北公園再整備に向けた懇談会参加者一同

1. はじめに（目的・背景）

- ・ 本提言書の目的
- ・ 懇談会実施の背景

2. ワークショップの概要

- ・ 開催日時・場所

3. 意見交換の内容（主な意見・課題）

- ・ 主な意見、課題

4. 提言事項

【提言 1】：タイトル

- ・ 根拠となる意見や課題
- ・ 具体的な施策や考えられる対応案

【提言 2】：タイトル

- ・ 根拠となる意見や課題
- ・ 具体的な施策や考えられる対応案

【提言 3】：タイトル

- ・ 根拠となる意見や課題
- ・ 具体的な施策や考えられる対応案

5. 今後への期待とフォローアップの要望

- ・ 行政や管理者への期待
- ・ 市民参加の継続的な仕組みづくりの要望

6. 添付資料

- ・ ワークショップ記録資料

1. はじめに（目的・背景）

- ・ 本提言書の目的

この懇談会は住民コミュニティが主体となって、これまでの公共事業の進め方について新しい手法を提案するものです。

従来型の公共事業では、行政が主導して計画を立てるため、市民の意見が反映されにくい傾向があります。情報公開が不十分で、意思決定の透明性に欠けることも多く、結果として市民との対立や訴訟に発展するケースも見られます。また、施設完成後の管理が行政任せになり、持続可能な運営が困難になることがあります。

市民参加型の公共事業では、計画段階から市民が関与することで納得感が高まり、情報共有を通じて信頼関係が築かれます。多様なニーズを反映した施設づくりが可能となり、合意形成によってトラブルの回避にもつながります。さらに、市民が管理や活用に関わることで、持続可能な運営が実現しやすくなります。

・ 懇談会実施の背景

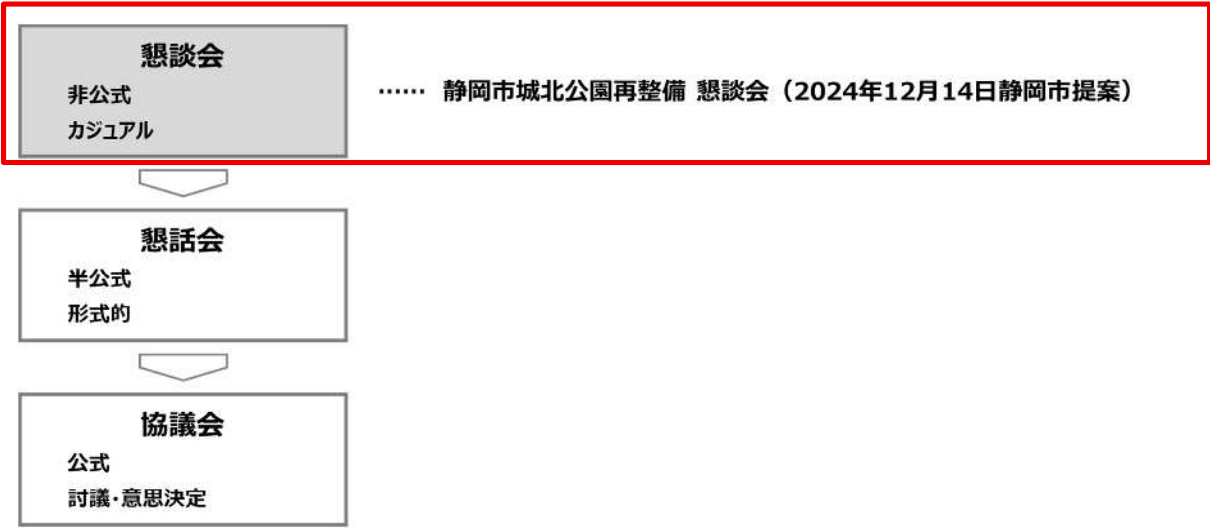
城北公園の再整備では、令和 3 年度に Park-PFI 制度の導入を試みましたが、住民訴訟により整備が一時中断されました。これは、市民との十分な対話がないまま事業が進められたことが原因です。

令和 6 年に訴訟が棄却された後、市は公園全体の再整備方針を見直し、アンケート調査を通じて市民の意見を広く収集しました。その結果、ハード面の整備だけでなく、管理や利活用といったソフト面への関心が高いことが明らかになりました。

こうした経緯を踏まえ、市民や地域団体とともに公園の管理運営方法を話し合う場として、懇談会の設置が提案されました。目的は、城北公園をより魅力的で持続可能な空間にするため、市民参加による共創の仕組みをつくるとともに、住民参加のプロセスを重視する姿勢を広く市民に示すことです。

懇談会は、多様な意見を直接聞き、公園に求められる要素や課題、問題点などを深く把握するための場として設けられ、単なる説明会ではなく、双方向の意見交換を通じて、より実情に合った再整備計画となるように、市へ提言することを趣旨として設置しました。

【会議体における懇談会の位置付け】



【懇談会の参加者 15 名の属性（参考）】

直接的な利害関係者	公園利用者	近隣住民（公園を日常的に利用する人々） 子育て世帯（小さな子どもを連れて遊びに来る保護者、親子） 障がい者（バリアフリー環境の改善や利用設備に直接影響を受ける人々） 高齢者（健康維持のためのウォーキングや憩いの場として利用する人々） 学生・子ども（部活や遊びなどで公園を使う学生や児童） 防災避難地対象者（広域避難地として指定されている町内の人々）
	公園で活動する組織や団体	地域自治会（地域の住民代表として再整備に関心を持つ） スポーツクラブ（地域の野球・サッカー・ランニングクラブなど） ボランティア団体（清掃や緑化活動に関わる愛護会等）

2. ワークショップの概要

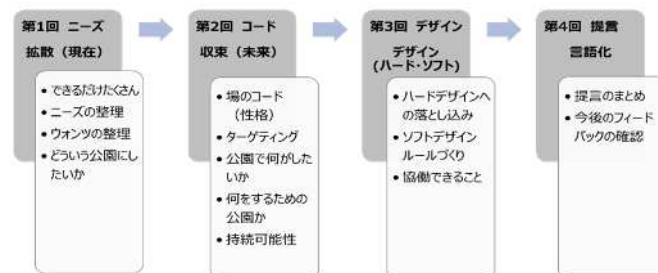
第1回 城北公園再整備に向けた懇談会	
開催日時	令和7年2月12日（水）18時～
会場	静岡市女性会館（アイセル21）41集会室
テーマ	ニーズ拡散（現在）
内容	・ニーズの整理・ウォンツの整理・どのような公園にしたいか（現在の良いところ、将来の要望、願望）

第2回 城北公園再整備に向けた懇談会	
開催日時	令和7年3月12日（水）18時～
会場	静岡市女性会館（アイセル21）41集会室
テーマ	コード収束（未来）
内容	××を■■として安全な公園にしたい（安全） ○○が▲▲できる公園にしたい（アクティビティ）

第3回 城北公園再整備に向けた懇談会	
開催日時	令和7年4月16日（水）18時～
会場	静岡市女性会館（アイセル21）41集会室
テーマ	ニーズの拡散（現在）※コード＝ルールや基準
内容	公園施設や機能の ・ハード（モノのデザイン） ・ソフト（仕組みやルールのデザイン）

第4回 城北公園再整備に向けた懇談会	
開催日時	令和7年5月21日（水）18時～
会場	静岡市女性会館（アイセル21）41集会室
テーマ	提言の言語化①
内容	多くの意見が出ている「駐車場」「高木（樹木）の取扱い」「カフェ」「住民参加体制」の具体化

第5回 城北公園再整備に向けた懇談会	
開催日時	令和7年7月2日（水）18時～
会場	静岡市女性会館（アイセル21）41集会室
テーマ	提言の言語化②
内容	公園の再整備を実現することで何が起こるか（＝プレイスビジョン）



3. 意見交換の内容（主な意見・課題）

第1回 令和7年2月12日（水） テーマ：ニーズ拡散（現在）

議題
① いちばん好きな場所やものの魅力について ② 公園で経験した最高の体験や思い出について ③ 周辺の魅力的な施設について ④ 誰とどのように、どんな時間を過ごしたいか ⑤ どんな遊びや体験、イベントがあると楽しいか ⑥ どんな施設が充実すると、これまで以上に楽しく過ごせるか

主な意見
① いちばん好きな場所やものの魅力について ・ 自然：緑豊かな環境、日本庭園、桜、あじさい、しだれ桜、メタセコイヤなどの植物 ・ 施設：図書館、健康広場、自由広場、子ども広場、花時計、水の広場など ・ 風景：富士山の眺め、公園全体の景観、浅間尾根の眺め ・ 安心感：車が入らない安全な環境、静かに過ごせる空間 ・ その他：広い空間、図書館との一体感、アクセスの良さ ② 公園で経験した最高の体験や思い出について ・ 自然とのふれあい：桜の季節の語らい、日本庭園でのリラックス、雨の日のあじさい観賞 ・ 家族・子どもとの時間：キャッチボール、遠足、ザリガニ釣り、昆虫観察 ・ 趣味・活動：富士山の撮影、ラジオ体操、ジョギング、無料コンサート ・ 地域イベント：防災訓練、夏祭り、草むしり、マラソン大会 ③ 周辺の魅力的な施設について ・ 公共施設：児童館、図書館、スポーツ広場、駐車スペース ・ 歴史・文化：臨済寺、浅間神社、賤機山、東雲神社などの歴史的名所 ・ 飲食店：そば屋、パン屋、カフェ、喫茶店など ・ 地域環境：安全な住宅街、子どもが多い地域 ④ 誰とどのように、どんな時間を過ごしたいか ・ 対象：家族、友人、一人でも ・ 過ごし方： ・ 自然の中でのんびり ・ 孫や子どもと遊ぶ ・ 季節を感じる（花見、紅葉） ・ スポーツや散歩、ジョギング ・ イベント参加（マルシェ、音楽フェス） ・ 自然観察や料理教室などの体験 ⑤ どんな遊びや体験、イベントがあると楽しいか ・ 遊び：昆虫観察、紙芝居、鬼ごっこ、川遊び、キャンプ

・ スポーツ：サッカー、野球、ヨガ、体操教室、ランニング教室 ・ イベント：音楽演奏会、マルシェ、野外映画、凧揚げ大会、焚火、フェス ・ のんびり：芝生でゴロゴロ、ベンチで休憩、何もしない時間 ・ その他：防災訓練、ライトアップ、コミュニティスペース、ボードゲーム
⑥ どんな施設が充実すると、これまで以上に楽しく過ごせるか
・ 自然環境：桜並木、紅葉、新緑、梅、こもれび、落ち葉の腐葉土化 ・ 施設整備： ・ 清潔なトイレ、着替えスペース ・ 子ども広場、スポーツグラウンド、芝生整備 ・ カフェ、軽食屋、キッチンカー、自販機 ・ 駐車場の拡充 ・ 雨天対応施設（屋根付き東屋、屋内施設） ・ 災害対応設備（かまどベンチ、災害トイレ） ・ その他：自然を活かした公園維持、新しい施設は不要との意見もあり

第2回 令和7年3月12日（水） テーマ：コード収束（未来）

議題
① ××を■■■して安全な公園にしたい
② ○○を▲▲できる公園にしたい

主な意見
① ××を■■■して安全な公園にしたい ○ 樹木の整備 ・ 木の根の整備（転倒防止） ・ 倒木の危険がある古木の伐採 ・ 樹木の種類や配置の見直し（見通し確保、害虫対策） ・ 小学生の通学路沿いの樹木整理 ・ 常緑樹の導入、肥料で元気に ○ トイレの改善 ・ 明るく広く清潔なトイレ ・ 見える位置に設置して安心感を ・ トイレの数や配置の見直し（減らす案も） ○ 通路・施設の安全性 ・ 段差の解消、フラットな歩道・通路の幅を広げる（特に東側） ・ 駐車場との遮断、車の侵入防止 ・ インターロッキングの修理 ○ 防犯・夜間対策 ・ 夜でも明るく安心して歩ける照明 ・ 見通しの良い公園づくり ・ 管理者の配置による治安維持 ○ 自転車・遊具の安全 ・ 自転車の進入制限または歩行ルール化

- 年齢別の遊具ゾーニング - ボール遊びやランニングの場所分け
○ その他
- 落葉を堆肥にする工夫 - 高齢者が安心して歩ける環境 - ドローン利用の事前ルール設定
② ○○を▲▲できる公園にしたい
○ 地域交流・人とのつながり
- 町内会や地域住民が集まれる場 - 知らない人同士が自然に会話できる空間 - 公園アンバサダー（世話人）の配置 - 小グループでの交流を重視
○ 活動・体験
- ヨガ、ランニング、楽器演奏、料理教室 - 木登り、水遊び、ボール遊び、自転車練習 - 市民ボランティアが活躍できる場
○ ペットとの共生
- ドッグランの設置 - ペット利用に対する気持ちよく支払える仕組み
○ 飲食・イベント
- マルシェ、フリーマーケット、コンサート - 小さな飲食店（アイスクリームなど） - 屋根付きベンチやレストルームの充実
○ アクセス・駐車場
- 公共交通機関で来やすい - 駐車場の整備（障害者対応含む） - 台数制限付きの駐車場
○ 自然と静けさ
- 何もしなくても満足できる空間 - 季節の花や緑を楽しめる - 地味だけど豊かな時間を過ごせる場所
○ 禁止が少ない公園
禁止看板が少なく、自由で穏やかな雰囲気

第3回 令和7年4月16日（水） テーマ：デザイン（ハード・ソフト）

議題
① ××を■ ■して安全な公園にしたい（ハード、ソフト）
② ○○を▲ ▲できる公園にしたい（ハード、ソフト）

主な意見
① ××を■ ■して安全な公園にしたい（ハード、ソフト）

○ ハード（設備・構造）

- ・ 園路の凸凹整備、視覚的標示
- ・ 歩道の拡幅（車椅子・ベビーカー対応）
- ・ 駐車場と公園の分離
- ・ 夜間照明（ソーラー式、足元灯）
- ・ 遊具の年齢別整備（3～4 歳向け）
- ・ 雨や日差しを避けられる場所の設置
- ・ トイレの改修（清潔・障がい者対応・避難機能）
- ・ 樹木の間引き、低木化、生垣撤去
- ・ 自転車置き場、自転車練習ゾーン
- ・ 高台の設置（見渡し・富士山眺望）
- ・ 落葉堆肥化設備
- ・ 防災用水源・トイレの設置
- ・ ランドスケープデザインの見直し

○ ソフト（制度・運用・人の関わり）

- ・ 自転車ルール（押して歩く、競争禁止）
- ・ モラル教育（学校・社会教育との連携）
- ・ 安全推進委員制度（腕章・帽子など）
- ・ 樹木管理に市民参加（専門家と協働）
- ・ 市民が安全管理に関わる仕組み（掲示板など）
- ・ ドローン利用ルールの策定

② ○○を▲▲できる公園にしたい（ハード、ソフト）

○ ハード（設備・構造）

- ・ ミーティングルーム付きカフェ
- ・ マルシェ設備、レストハウス
- ・ 小型スポーツ設備（ネット、ゴール）
- ・ スケボーエリア、ミニコンサートスペース
- ・ 防災設備（トイレ、かまど、ベンチ、水場、シェルター）
- ・ テーブル・椅子の設置
- ・ 有料駐車場、障がい者専用スペース
- ・ 駐輪場の充実、路駐エリアの活用
- ・ 芝生広場、木陰、横になれるベンチ
- ・ 小川の延長、あづま屋の増設
- ・ ドッグラン設置
- ・ 禁止看板の撤去
- ・ 移動できるベンチ
- ・ 噴水広場の活用
- ・ 芸能人の絵展示、立体駐車場
- ・ パルクル拡張

○ ソフト（制度・運用・人の関わり）

- ・ 地域ポイント制度（清掃参加→カフェ特典）
- ・ 地域住民の技披露・教え合いの仕組み
- ・ 公園レンジャー・市民ガイドの常設
- ・ ミニマルシェ・イベントの定期開催

- 公共交通利用促進（自転車持ち込みバス）
- 自由広場、なんでも OK エリアの設置
- 子どもの意見を反映する仕組み
- ファシリテーターによる対話の場
- 散歩者による安全パトロール
- サークル活動（将棋、ゲートボールなど）
- キッチンカー＋ライブイベント
- 剪定木の活用
- 市民ボランティア制度
- 観光拠点との連携（登呂遺跡など）

第4回 令和7年5月21日（水） テーマ：提言（言語化）①

議題
① 駐車場に関する意見交換
② カフェに関する意見交換
③ 高木（樹木）に関する意見交換
④ 住民参加型の体制に関する意見交換

主な意見
① 駐車場に関する意見交換 ● 必要性： ● 車で来園する人、障がい者、イベント参加者、遠足バスなどのために駐車場が必要。 ● 配置場所： ● 公園内は危険（人と車の動線が交差するため）→避けるべき ● 北側道路上（白線で整備、片側のみ利用など） ● 静大附属幼稚園、大岩車庫、JA 駐車場などの有効活用 ● 図書館の駐車場を立体化 ● 規模・台数： ● 台数は決めない vs 事前に決めるべきという意見あり ● 周辺の有料駐車場も含めてシェアする考え方 ● 種類・用途： ● グラウンド利用者、マルシェ来場者、障がい者、遠足バスなど用途に応じた設計が必要 ② カフェに関する意見交換 ● 必要性： ● 公園内に建物を新設する必要はないという意見が多数 ● 周辺店舗への配慮、図書館との連携が重要 ● 公園は「癒しの空間」、賑わいは周辺で ● 配置場所： ● キッチンカーやキヨスクは公園内（子ども広場や芝生広場）

- 堅牢なカフェは公園外（図書館周辺など） - 規模： - 移動式（キッチンカーなど）で十分 - サービス： - ベンチやチェアの設置 - 電源の確保（キッチンカー用） - ゴミ対策（植込みへの投げ捨てなど）
③ 高木（樹木）に関する意見交換
- 安全性の確保： - 高木（10m 以上）は危険 → 特に東西側の高木は低くしてほしい - 曲がったヒマラヤ杉は伐採対象 - 通学路沿いは安全優先 - 景観との両立： - ケヤキ並木など保存すべき樹木もある - ランドスケープの専門的な検討が必要 - 管理方法： - 専門家（樹木医）と市民が協働で管理 - 見通しの確保のための低木整理、生垣撤去 - 植え替え： - 伐採だけでなく、計画的な植え替えで緑を維持
④ 住民参加型の体制に関する意見交換
- 体制づくり： - NPO や中間支援組織（例：東京都の事例）を参考に - 市民・企業が関わる仕組みが理想 - 参加促進の工夫： - インセンティブ（例：ゴミ拾いで 1 コイン） - 若者や家族が参加しやすい仕組み - 市民の継続性・活動しやすさを市が支援 - 活動内容： - 清掃、落ち葉・肥料管理、ベンチ塗り替え - 日本庭園の管理を学べるプログラム - 公園管理スケジュールの共有と参加機会の提供

第 5 回 令和 7 年 7 月 2 日（水） テーマ：提言（言語化）②

議題
主な意見

4. 提言事項

1. 日常の安心・安全を確保しつつ、災害時の避難機能を果たす防災性の強化。特に高木管理については、安全性、維持管理費、育成環境の観点から多面的な検討を行い、管理ルールの整備を進めること
2. 現在の良さを活かしながらも、時代に即した多様な利用ニーズに対応する要素の導入
3. ランニングコストを抑えつつ、持続可能な公園管理の実現
4. そのための市民参画の仕組みやインセンティブの設計
5. 参画の基盤となるパブリックコミュニティの核づくり
6. 障がいのある方やベビーカー利用者、高齢者など、多様な立場の人々が安心して利用できるよう、インクルーシブデザインの視点を取り入れた空間整備を行うこと

住民参画

- ・ ランニングコストの低減による維持管理の低減による持続可能性の向上
- ・ より多くの住民が参加できる仕組み(プラットフォーム)づくり
- ・ 環境や動植物の学習の場としての機能
- ・ オーナー意識(当事者意識)エンゲージメント(関与・愛着)、コミットメント(責任ある関わり)の向上
- ・ マルシェ出店料、ドッグランの使用料などによる収益事業の創設

コミュニティ(カフェ)

飲食や休憩ができる基本的なカフェ機能
地域コミュニティの活動を支える機能
住民参画をサポートする機能
図書館との連動を考慮した配置・デザイン
大型の施設は望まない
(キオスクやキッチンカーも)

駐車場

障がい者など多様な人の利用を可能に
広域からの利用を可能に
スポーツ、マルシェ利用などの利便性向上
歩行者、利用者の安全確保に留意
台数は最小限で、できれば園外で

樹木(高木・低木)

高木:健全性を保ちリスクと費用の低減
日陰の確保、日射を遮るシェルター機能
低木・茂み:視界を確保し安全を担保
樹木管理のルール化を図る
次世代に継承可能な緑の資産を守る
四季折々の楽しみ、富士山の眺望の確保

安心・安全

- ・ 日常的な清掃や維持管理の徹底、非常時・被災時に機能する公園
- ・ 防犯の視点によるデザインと管理、防犯を意識したトイレのデザイン
- ・ 園内の自転車と歩行者の分離、外周道路や駐車場と歩行者の安全確保、幼児の遊び場などの適切なゾーニングによる安全確保
- ・ 地面の段差、樹木の根上がりなどのハザードの撤去、ベビーカーや車椅子などが快適に使える園路の整備
- ・ 照明の増設など夜間の安全性の向上
- ・ 猛暑・災害時に対応可能な休憩・避難機能を備えた日除けシェルターの設置

【提言 1】：住民参加

根拠となる意見や課題
● 東京都都立公園の事例(NPO バース)のように、市民、企業(中間支援組織)が関わる組織があれば良い。このような組織の中で、樹木の伐採も議論すれば良いのでは。専門的な方(中間支援)が組織に入って体制をつくる。 ● 人が集まるかが課題。参加できるメンバー(志が高い方)は一部の方だけが多い。一部の方だけに負担をかけてよいのか。 ● ゴミを集めたら、1コインもらいえるなどインセンティブを与える。 ● 公園の中で花植えの活動をされている団体がいる。そのような団体の団員を増やしていく。 ● 市民が継続のしやすさ、活動のしやすさを市が支援してほしい。 ● 落ち葉が多い時期や、肥料をあげなければいけない時期など公園スケジュールを把握した上で、愛護会のみならず、他の方(遠方の方も含めて)も参加して実施する。 ● ベンチの塗り替えもイベント的にやっていく。 ● 日本庭園を管理している専門業者の指導のもと参加者が学べるプログラムを設置。参加者の知識を蓄え、市民の管理の幅が広がる。 ● 公園の管理スケジュールを作成し、色々な団体や近隣の方が管理に参加できる仕組みがほしい。公園の中に建物を新たに造る必要はないのでは。周辺店舗への配慮は必要では。
具体的な施策や考えられる対応案
● ランニングコストの低減による維持管理の低減による持続可能性の向上 ● より多くの住民が参加できる仕組み(プラットフォーム)づくり ● 環境や動植物の学習の場としての機能 ● オーナー意識(当事者意識)エンゲージメント(関与・愛着)、コミットメント(責任ある関わり)の向上 ● マルシェ出店料、ドッグランの使用料などによる収益事業の創設

【提言 2】：コミュニティ（カフェ）

根拠となる意見や課題
● 周辺で買い物したり、持参したりする方が多いので、公園内にベンチがあれば良いのでは。 ● 図書館との連携は考えるべき。 ● キオスク、キッチンカーなどの移動が容易な施設で良いのでは。 ● 平日は、カフェを欲している人は少ないのでは。土日だけで良いのでは。 ● 幼稚園の土地や周辺の土地など、公園の外に店舗の誘致。 ● 図書館の中で軽食を食べられる空間、店舗がほしい。図書館の 2 階が空きスペースがあるので有効活用すべき ● 賑わいは公園周辺。公園の中はあくまでも癒しの空間 ● キッチンカー、キオスクは公園内、堅牢なカフェは公園外。 ● キッチンカーなどは子ども広場にあれば良いと思うが、以前に社会実験をやったがうまくいかなかった。 ● 図書館周辺の芝生広場。図書館と公園をつなぐきっかけの場としてキッチンカーを配置する。図書館近くで読書テラスがあれば良い。図書館前でお話会などのイベントを図書館側が企画してほしい。 ● 堅牢な建物は不要。 ● 移動できるカフェやキッチンカーで良い。 ● 芝生広場でベンチやチェアなど座れる環境がほしい。 ● キッチンカーが出店しやすい電源を確保してほしい。 ● ゴミが増える可能性がある。 ● 現状、園路にゴミが落ちていることはないが、植込みへの投げ捨てが見受けられる。
具体的な施策や考えられる対応案
● 飲食や休憩ができる基本的なカフェ機能 ● 地域コミュニティの活動を支える機能 ● 住民参画をサポートする機能 ● 図書館との連動を考慮した配置・デザイン ● 大型の施設は望まない ● （キオスクやキッチンカーも）

【提言 3】：駐車場

根拠となる意見や課題
● 公園内に駐車場を造ることは、車と人の動線、歩道がまじわることになるため危険。 ● 北側道路上駐車台数の増、白線を引いて駐車場を整備(両側)50～60台確保。反対側の方が公園に入ると危険なので、公園側だけでも良いかも。3時間まで無料など時間制で考える。イベント時のみ利用も可。 ● 北側道路上駐車について、現状40台～45台は駐車でき、これ以上台数を増やすことは危険。現状の使い方が良い。 ● 大岩車庫を利用する。土砂災害特別警戒区域のため、雨の日や危険な日は使用しないなど運用が必要。 ● JA駐車場の有効利用⇒現在、賃貸で他者へ使用させている。 ● 北側スポーツ広場駐車場及び静大附属幼稚園の有効利用。道路を横断するため横断歩道や陸橋を設置する方法もある。 ● 図書館の専用駐車場を立体駐車場として改良。 ● 管理棟の駐車場は、乗降の場として利用し駐車場ではない。体が不自由な方々も利用できる。 ● 園外で安全が確保できる範囲で整備すれば良い。台数は決めない。 ● 台数を事前に決めた方が良い。近い人が使用することが多いと思う。ニーズを把握したい。 ● 駐車場の必要台数はキリがないため、公共交通を優先して使ってほしい。 ● 周辺の有料駐車場40台も城北公園の駐車場として、カウントシェアすれば良いのでは。 ● グラウンドで活動される方(グランドゴルフ、スポーツ団体、子どもの遊具(三輪車など)を持っている方、若い方など)のための駐車場 ● マルシェでは、路上駐車場、周辺有料駐車場も満杯。イベント時に使用できる既存駐車場を増やしたいので、そのような駐車場を事前に把握しておきたい。 ● 障がい者の方がアクセスしやすいように。 ● 遠足用バスの乗降場の確保。現地集合、現地解散もある。
具体的な施策や考えられる対応案
● 障がい者など多様な人の利用を可能に ● 広域からの利用を可能に ● スポーツ、マルシェ利用などの利便性向上 ● 歩行者、利用者の安全確保に留意 ● 台数は最小限で、できれば園外で

【提言４】：樹木（高木・低木）

根拠となる意見や課題
● 10m以上の高木は何とかしてほしい。これから高木が危険になる。 ● 特に東側、西側の高木を低くしてほしい。植え込みもカットしてほしい。 ● 今は正常な状態ではないことが皆さんの認識だと思う。このため、正常な状態にもらいたい。 ● 公園全体が明るくなってほしい。特に図書館の周り ● 残すべき高木と、伐採する高木を選定すべき。ケヤキ並木の高木は保存。 ● 曲がっているヒマラヤ杉は伐採する。 ● 安全と景観の両立が必要ではないか。このため、ランドスケープを専門的に考える必要がある。 ● 東側は小学生の通学路になって危険。景観も大事である気持ちがわかるが、安全を優先してほしい。 ● ○年度にどのような姿になるなど方針を決めて提示してほしい。 ● 切るだけでなく、植え替えも計画的に実施して、安定的に緑を確保していく。
具体的な施策や考えられる対応案
● 高木：健全性を保ちリスクと費用の低減 ● 日陰の確保、日射を遮るシェルター機能 ● 低木・茂み：視界を確保し安全を担保 ● 樹木管理のルール化を図る ● 次世代に継承可能な緑の資産を守る ● 四季折々の楽しみ、富士山の眺望の確保

【提言 5】：安心・安全

根拠となる意見や課題
● ベビーカーでも安全に通行できるように整備する ● 自転車レーンを設ける。 ● ランニングコースを設置する ● 自転車置き場を増やす ● 防災トイレ、防災かまど、防災ベンチを設置 ● トイレ施設に避難場所を併設する ● 夜間も安心して散歩やジョギングができるよう、明るい照明を設置 ● ソーラーパネルを電源とする照明を設置 ● 足元灯を設置
具体的な施策や考えられる対応案
● 日常的な清掃や維持管理の徹底、非常時・被災時に機能する公園 ● 防犯の視点によるデザインと管理、防犯を意識したトイレのデザイン ● 園内の自転車と歩行者の分離、外周道路や駐車場と歩行者の安全確保、幼児の遊び場などの適切なゾーニングによる安全確保 ● 地面の段差、樹木の根上がりなどのハザードの撤去、ベビーカーや車椅子などが快適に使える園路の整備 ● 照明の増設など夜間の安全性の向上 ● 猛暑・災害時に対応可能な休憩・避難機能を備えた日除けシェルターの設置

5. 今後への期待とフォローアップの要望

- ・ 行政や管理者への期待

第5回懇談会で確認

- ・ 市民参加の継続的な仕組みづくりの要望

第5回懇談会で確認

6. 添付資料

- ・ ワークショップ記録資料